

臨床研究（調査研究）へのご協力をお願い

先天性嚢胞性肺疾患の多くは、呼吸が苦しくなったり、肺炎を起こしたりするので、手術で取り除く必要があります。この研究では先天性嚢胞性肺疾患のなかでも将来腫瘍になる可能性が指摘されている病変について遺伝子の異常の有無、その種類を調べることを目的とします。その結果より、それぞれの先天性嚢胞性肺疾患が発生する機序が解明され、悪性化の可能性を含めて正確な診断の基準を作成することができ、適切な治療方法の選択に役立つと考えます。

研究には、治療のため切除された先天性嚢胞性肺疾患の検体を用います。診療のための組織学的検査を行ったものの一部を利用します。通常染色方法に加えて特殊な染色方法を用いて、顕微鏡の検査を十分に行います。その結果から、さらに選択された一部の検体については遺伝子の異常の検査をします。遺伝子の異常は検体を細かく砕いて、DNAを取り出して検査します。手術（検体摘出）から検査終了までおよそ3か月を予定しています。

研究課題名 組織学的・細胞遺伝学的検討による先天性嚢胞性肺疾患の病因に基づく分類の試み

研究の目的 先天性嚢胞性肺疾患の適切な治療選択に必要な正確な診断基準を得るため、同疾患の細胞遺伝学的背景を明らかにする。

研究に利用する情報の項目 臨床情報（肺切除時年齢、性別、病変部位）、組織診断

研究対象の範囲 1970年（当センター開設時）より2019年の間に当センターで手術により採取され当科で診断した先天性嚢胞性肺疾患

情報の管理について責任を有する者又は名称 研究代表者 病理診断科 医師 田中水緒

本研究はヘルシンキ宣言及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）に従って実施されます。使用する情報・試料は患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、この場合も患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立病院小児医療基金研究助成金により行っており、研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありませんし、開示する利益相反もございません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合も診療において不利益を被ることはありません。苦情の受け付けは倫理委員会事務局となります。

研究責任者 病理診断科 田中水緒

連絡先

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター

病理診断科 田中水緒

倫理委員会事務局 (総務課内)

Tel : 045-711-2351 内線 2212